

事務事業名		水道施設災害復旧事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業																									
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間																									
	施策名	20 良好な生活空間の創造		☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～)																									
	基本事業名	02 上水道・簡易水道の整備		☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成23 年度～ 令和4 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
根拠法令		水道法		予算科目 会計 款 項 目 事業 水道 01 01 02																									
所属	部課名	水道事業所		事務事業区分																									
	課長名	大浦 公友		A 政策事業 B 施設整備																									
	係名	工務給水係	電話 0192-27-3111	C 施設管理 D 補助金等																									
	担当者	今野 稔	内線 178	E 一般(A～D以外)																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 本事業は、東日本大震災の被災地域における配水管等の復旧、土地区画整理事業や道路嵩上げ等に伴う配水管の布設替え事業及び防災集団移転地域への配水管の布設事業である。 事業費は、工事請負費、調査設計業務委託料などに支出される。 なお、本事業は大船渡市復興計画登載事業である。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計 (A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
延べ業務時間																													
人件費計 (B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)		
前年度実績(前年度に行った主な活動) 一般県道・主要地方道整備事業及び防潮堤整備事業に伴う配水管布設替工事 6件		
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 一般県道・主要地方道整備事業及び防潮堤整備事業に伴う送・配水管布設替工事 12件		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 津波浸水区域、土地区画整理事業区域及び防災集団移転促進事業施行区域で使用する水道施設		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 配水管等の復旧及び布設替え並びに配水管等の水道施設を整備し、水道水を供給する。		
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全な水道水が安定して供給される。		
⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
名称		単位
ア	配水管等布設替延長	m
イ	配水管等新設延長	m
ウ		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
名称		単位
カ	土地区画整理事業他復興関連配水管布設替延長	m
キ	防災集団移転促進事業関連配水管等新設延長	m
ク		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
名称		単位
サ	配水管等整備率(カ/ア)	%
シ	配水管等整備率(キ/イ)	%
ス		

(2) 総事業費・指標等の推移										
		単位	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円	118,384	220,823	255,965	114,165	71,258	435,000
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円	24,482	36,113	39,110	3,164	5,291	35,279
			一般財源	千 円	28,891	22,134	18,678	24,839	4,115	28,866
	事業費計 (A)		千 円	171,757	279,070	313,753	142,168	80,664	499,145	
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時 間	3,000	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
		人件費計 (B)	千 円	12,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	
	トータルコスト(A)+(B)		千 円	183,757	293,070	327,753	156,168	94,664	513,145	
⑤活動指標		ア	m	2,532	5,495	6,504	1,724	831	4,297	
		イ	m	2,568	1,846	1,492	-	-	-	
		ウ								
⑥対象指標		カ	m	410	4,887	5,763	1,724	831	4,297	
		キ	m	2,568	1,390	1,199	-	-	-	
		ク								
⑦成果指標		サ	%	16.2	88.9	88.6	100.0	100.0	100.0	
		シ	%	100	75.3	80.4	-	-	-	
		ス								

事務事業ID	1614	事務事業名	水道施設災害復旧事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
東日本大震災により水道施設が被災し当該施設の復旧並びに新たな住宅用地等の確保のため、土地区画整理事業及び防災集団移転促進事業が必要となったことによる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
土地区画整理事業施行区域においては、配水管の布設にあたり、同地区内には水道使用者がいるため、仮設管を施工し給水を持続しながらの工事が必要であり、また、既設管の撤去も求められているが、同事業の具体的な工事工程が未定のため、仮設管を含めた配水管の設計及び既設管撤去の計画ができない状況にある。
道路嵩上げ等の計画については、他事業との調整を図りながら施工するため、時間を要する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
土地区画整理事業及び防災集団移転促進事業の工事工程に対応した、施設設計及び水道施設の施工が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	水道施設の整備を実施することにより、市民に安全な水道水が安定して供給され、その結果、快適な都市環境の向上が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	水道事業は公営企業であり、経済性とともに住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	被災地区の復興計画に係る配水管等の布設替え並びに配水管等の水道施設を整備するものとして適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	土地区画整理事業等他の事業の実施に併せて配水管路等の整備をするため、成果の向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	水道水の供給ができなくなり、住民生活、再建に大きな支障をきたす。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	施設整備後の維持管理を含め、管種、管径、機器等の選定をすることから、事業費の削減は困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	現状から、人件費削減は困難である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	最終的には水道料金に転嫁されることから適切である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止																							
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 道路嵩上げや新たなまちづくり事業など関連する他事業の進捗状況等について情報共有を図るとともに、単独事業との緊急度、優先度による調整を行い、適時適切な事業発注を行う。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	震災による水道施設の復旧について、高台移転事業関係は完了し、土地区画整理事業関連事業は今後も数年継続する見通しである。事業者と工程調整を図りながら、布設替工事を進めていく。